

## 令和2年度 地域活性化活動助成の選考結果

(一財)北海道開発協会 開発調査総合研究所

(一財)北海道開発協会では、地方版総合戦略と新たな北海道総合開発計画の推進に寄与する地域づくりを支援するため、令和2年度地域活性化活動助成の対象として、令和元年11月1日から2年4月20日まで、道内における非営利の市民団体の活動について公募してきました。

応募された活動には、地域づくり、観光、環境、福祉の分野など多岐にわたっており、さまざまな活動に

地域の人々が精力的に取り組まれていることがわかりました。

これらの活動内容について、厳正な審査を行った結果、下記の6件を選考しました。

令和3年度については、本年11月頃にホームページに募集要領を、「開発こうほう」12月号に募集広告を掲載する予定です。多数のご応募を期待しています。

### 令和2年度地域活性化活動助成団体及び活動内容

団体名	所在地	活動内容の概要
特定非営利活動法人 アグリコミュニティ千歳	千歳市	<p><b>【大地震の復興に向けての原風景再興と新ビジネス創出】</b></p> <p>地域の住民と営農者や教育・研究機関等が協働し、ハスカップ栽培での手摘み収穫の採算性と高齢化による負担軽減、また胆振東部地震からの震災復興のため、ハスカップの植栽と果実を使ったブランド品開発を行い、併せて地域発スマート農園の実用化に向けたシステム設計（遠隔監視、雑草駆除）等の取組みを行うことで、新たな農業展開とする新ビジネス創出につなげる取組みを行います。</p>
知床ねむろ・北太平洋 シーニックバイウェイ ルート運営代表者会議	根室市	<p><b>【知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ 地域の魅力度向上事業】</b></p> <p>構成団体と地域が連携し、当ルートのフットパスや交通・鉄道遺構等と連携したモデルツアーを開催し、また観光消費額の向上のため、地域ロゴマークを活用した土産品の開発等を行い、当ルートの「認知度」と「質」の向上を図る取組みを行います。</p>
標津漁師会	標津町	<p><b>【標津漁師会】</b></p> <p>地域の若手漁業者が中心となり、標津産魚介類を使った「浜ピザ」を活用し、「移動販売車」による町内外のイベント等での販売と発信を通じ、町の魚介類のPRと地域の活性化につなげる取組みを行います。</p>

団体名	所在地	活動内容の概要
エコ・ネットワーク	札幌市	<p><b>【健康と観光の両面に寄与するさっぽろ周回パスの設定】</b></p> <p>「さっぽろ周回フットパス(120~150km)」の構築を目指し、市民参加によるフットパスイベントの開催と、周回フットパスのマップを作成します。また周回フットパス啓発のため、先進地の関係者を招聘したフォーラムを開催し、健康志向の地元市民や観光客へ寄与する他、道内他地域での周回フットパス整備のモデルにつながる取組みとして行います。</p>
特定非営利活動法人 美しい村・鶴居村観光協会	鶴居村	<p><b>【鶴居村ガストロノミーツーリズム・プロジェクト】</b></p> <p>新たな観光資源として、鶴居村の食と文化を楽しむ旅『ガストロノミーツーリズム』の導入に向け、鶴居村の乳製品(チーズ、ヨーグルト)や鹿肉ジビエ料理などの食材を使った「メニュー開発」と「モニターツアー」を開催し、着地型観光の推進に向けた取組みを行います。</p>
特定非営利活動法人 北見NPOサポートセンター	北見市	<p><b>【製炭炉での未利用資源エネルギー化循環モデルづくり】</b></p> <p>地域の障がい者支援団体や企業等と協働し、美幌町に設置される製炭炉(多様な廃棄物の炭化が可能)を活用した一次産業等の残渣廃棄物の有効利用を目指します。このため「資源調査」と「用途可能性の調査」を行い、オホーツク地域での障がい者就労と新たな雇用創出につながる地域循環型社会に向けた取組みを行います。</p>